

第六次千葉県障害者計画 主要施策管理表

令和2年度

主要施策	2 精神障害のある人の地域生活の推進
------	--------------------

総合計画から

◇精神障害のある人が、地域の一員として安心して自分らしい暮らしをすることができるようにするためには、医療機関による退院支援や地域の福祉関係機関による地域生活支援の両面が必要であることから、保健、医療、福祉関係者による「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム」の構築を推進します。

◇精神障害のある人の地域生活への移行や地域生活を継続するための支援に積極的に取り組んでいる精神科病院を「千葉県精神障害者地域移行・地域定着病院」として認定し、精神科病院に長期入院している患者の退院を促進します。

◇精神障害のある人が、自立した生活を維持し、社会参加を支援するためのピアサポート体制を推進します。

基本施策

- (1)精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築
(2)精神科救急医療体制の充実

数値目標の評価

(個)

年度	目標数	A	B	C	D	E	その他
30	12	4	4			3	1
1		4	4		1	2	1
2		3	2	1		2	4

主要施策の取組状況等

令和2年度	【取組結果】 (1)地域包括ケアシステムにおける協議の場等を通して、障害保健福祉圏域ごとに地域の課題やニーズに応じて、入院中の精神障害者の地域移行・地域定着の促進に係る検討をすすめました。 (2)千葉県精神科救急医療システム連絡調整会議及び千葉県精神科救急医療システム連絡研修会を開催し、更なる連携の強化、参画病院の充実を図りました。 (3)千葉県精神科救急医療システム連絡調整会議及び千葉県精神科救急医療システム連携研修会を開催し、更なる連携強化、参画病院の充実を図るとともに、身体合併症対応協力病院への協力要請を行いました。
令和3年度	【取組結果への対応】 (1)引き続き、地域包括ケアシステムにおける協議の場等を通して、障害保健福祉圏域ごとに地域の課題やニーズに応じて、入院中の精神障害者の地域移行・地域定着の促進に係る検討をすすめます。 (2)引き続き、千葉県精神科救急医療システム連絡調整会議及び千葉県精神科救急医療システム連絡研修会を開催し、更なる連携の強化、参画病院の重質を図ります。 (3)引き続き千葉県精神科救急医療システム連絡調整会議及び千葉県精神科救急医療システム連携研修会を開催し、更なる連携強化、参画病院の充実を図るとともに、身体合併症対応協力病院への協力要請を実施します。
最終年度の判定	一部の進展にとどまっています。
令和3年度	【第七次計画の方向】 ・精神障害のある人が地域の一員として安心して自分らしい暮らしをすることができるよう、障害保健福祉圏域ごとの保健・医療・福祉関係者による協議の場を通じて、精神科医療機関、その他の医療機関、地域援助事業者、市町村における障害保健福祉の担当部局、保健所、都道府県における精神科医療及び障害保健福祉の担当部局等の関係者間の顔の見える関係を構築し、地域の課題を共有化した上で、精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築の取組を推進します。 ・(3)引き続き千葉県精神科救急医療システム連絡調整会議及び千葉県精神科救急医療システム連携研修会を開催し、更なる連携強化、参画病院の充実を図るとともに、身体合併症対応協力病院への協力要請を実施します。

※最終年度の判定：目標数に対するAの割合が7割以上に達した場合＝「進展が図られています。」

「進展が図られています。」に該当する場合を除きA+Bの割合が7割以上に達した場合＝

「概ね進展が図られています。」

上に記載以外の場合＝「一部の進展にとどまっています。」